

## 「北陸電力グループCSRレポート2010」の発行について

平成22年6月30日  
北陸電力株式会社

当社は、本日、北陸電力グループのCSR（Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任）に関する取組みを取りまとめた「北陸電力グループCSRレポート2010」を発行しました。

今回のレポートでは、巻頭特集として「エネルギーの安定供給と低炭素社会の実現に向けて」を取り上げ、中核電源である志賀原子力発電所の安全・安定運転や、再生可能エネルギーの導入拡大の取組みについて、詳しく記載しております。

そのほか、現場技術力の向上など電力の安定供給に向けた当社グループ従業員の日頃の努力や、エコキュート・ヒートポンプ機器等の推奨やコンサルティングによるお客さまへの省エネ・省CO<sub>2</sub>のご提案、電気自動車の導入、生物多様性に配慮した環境保全活動など環境における取組みについても幅広くご紹介しております。

本レポートを通じ、広く社会の皆さまに北陸電力グループのCSRに関する考え方や取組みをご理解いただくとともに、一層の双方向コミュニケーションの推進に努めてまいります。

なお、今回、レポートの用紙につきましては、間伐材を中心とした国産材と北陸電力グループから出た古紙等を原料として生産された用紙を使用しています。用紙価格の一部は、里山再生・保全団体の活動をサポートするために使われます。

本レポートは当社ホームページ「CSRへの取組み」(<http://www.rikuden.co.jp/csr>)からダウンロードいただけます。

以上

<添付資料> 「北陸電力グループCSRレポート2010」概要版

# 「北陸電力グループCSRレポート2010」概要版

CSRとは、Corporate Social Responsibility の略で、企業の社会的責任と訳されます。企業が本来の事業活動や環境問題への対応、地域共生活動などの行動を通じて、社会への責任を果たし信頼を得ていくことなどを指します。

## 特集 エネルギーの安定供給と低炭素社会の実現に向けて

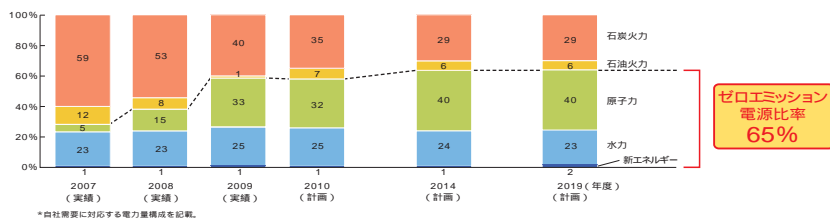
良質で環境にやさしい電気を、安定的にお届けできるよう、グループ体となって取り組んでいます

### 電源のベストミックスとゼロエミッション電源比率の向上

北陸電力では、電気のお届けに際して、長期的視点にたち、水力・火力・原子力などの方式の特性を活かし、バランスよく組み合わせる「電源のベストミックス」に努めています。

志賀原子力発電所1・2号機の安全・安定運転により、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図るとともに、化石燃料価格の変動影響を受けにくい経営基盤を確立します。加えて、水力・太陽光・風力・木質バイオマスなど、再生可能エネルギーの導入拡大を着実に進め、電源の多様化とゼロエミッション電源比率\*の向上に努めます。\*ゼロエミッション電源比率：CO<sub>2</sub>を排出しない原子力発電・水力発電・新エネルギー発電の比率。

発電電力量構成の実績と見通し

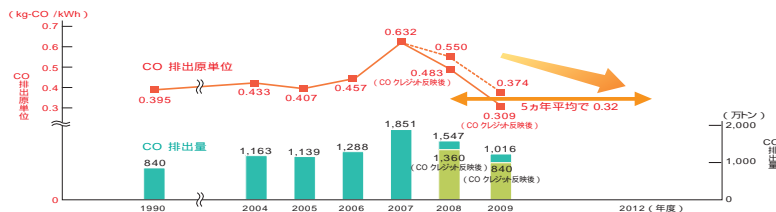


### 環境目標

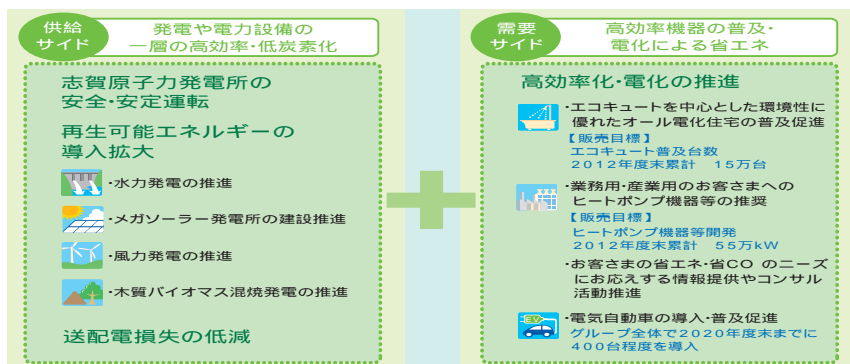
《環境目標》 CO<sub>2</sub> 排出原単位\*を1990年度対比20%削減  
0.32 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2008~2012年度5年平均)

\*販売電力量1kWhあたりのCO<sub>2</sub>排出量。

CO<sub>2</sub> 排出原単位・排出量の推移



### 低炭素社会の実現に向けた需給両面の取組み



## 供給面の取組み

### 志賀原子力発電所の安全・安定運転

原子力発電は、供給の安定性、経済性に優れているうえに、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないため地球温暖化防止対策として最も有効な発電方法です。安定供給と低炭素社会実現の中核となる志賀原子力発電所の安全・安定運転に、引き続き全力を尽くしてまいります。

#### 安全・安定運転の徹底

- 運転・監視  
中央制御室では、運転員が24時間体制(交替勤務)で、発電所全体の運転状況を集中的に監視・コントロールしています。
- 運転訓練・保守訓練  
運転訓練シミュレータで原子炉の起動や停止などの手順をはじめ、故障や異常が発生したときに適切な対応ができるよう繰り返し訓練を行なっています。また、実機と同じものを使用した保守・点検訓練を行ない、保修員等の技能・技術レベル向上を図っています。
- 定期点検の実施  
法令にもとづき約1年に1回原子炉を止めて、国の検査を受け、国が定めた安全上の技術基準を満たしていることを確認しています。
- 国などによるチェック制度  
国の原子力保安検査官が原子力発電所に常駐し定期的に検査確認等を行っています。



運転シミュレータ訓練



若手社員への技術指導

### 再生可能エネルギーの導入拡大

水力発電、太陽光発電、風力発電、木質バイオマス混焼発電などの再生可能エネルギーの導入を推進します。

#### ● 水力発電

河川維持放流水(河川環境の維持を目的としたダムからの放流水)の活用を進め、2010年11月には、仏原ダム発電所(出力210kW)が運転を開始します。



河川維持放流の状況(仏原ダム)

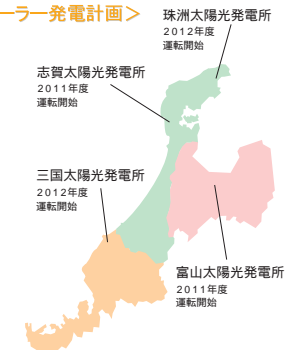
#### ● 風力発電

福浦風力発電所(21,600kW(2,400kW×9基))が、2009年10月に4基運転を開始しました。残り5基についても、2011年1月に運転を開始する予定です。

#### ● 太陽光発電

自社メガソーラー発電所の開発を北陸地域の4カ所(1,000kW×4カ所)で進め、2011年度から順次運転を開始します。

#### <メガソーラー発電計画>



#### ● 木質バイオマス混焼発電

敦賀火力発電所2号機に続き、七尾大田火力発電所2号機でも、2010年9月から実施する予定です。

# 皆さまから信頼される企業を目指して

## お客さま満足の向上

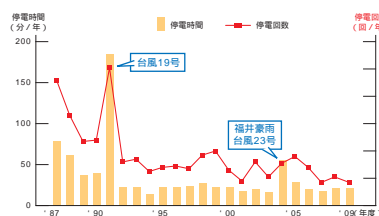
### ● 電力の安定供給

#### ◆ 停電の少ない高品質な電気のお届け

お客さまへ電気を安全・安定的にお届けすることが北陸電力グループの最大の使命です。

これからも、お客さま一戸あたりの停電回数0.26回/年(至近5年平均)程度を維持し、高品質な電気をお届けしてまいります。

お客さま一戸あたりの年間停電時間・停電回数の推移



### ◆ 現場技術力の向上

#### 運転シミュレータを活用した実務訓練

発電部門では、運転技術力の維持向上のため、OJTによる実務教育を実施するとともに、運転訓練シミュレータを活用した訓練を行っています。



火力運転シミュレータ訓練

#### 技術マスター等による技術指導・技術継承



移動用設備設置訓練

豊富な現場経験とすぐれた技術を併せ持った従業員を「技術マスター」として認定し、技術・技能をOJTや研修などを通じて後輩に伝えています。

#### 技能競技会を通じた技術向上

日頃習得した技術の成果を発揮し、競い合うことで、現場技術力の向上を図っています。



配電工事安全技能大会

## 地域社会との共生

### ● 地域社会との共生に向けた活動

北陸電力グループは、地域に根ざした企業として、地域の各種イベント・祭礼への参加や、従業員会等による環境美化活動など、地域との共生に向けた活動に取り組んでいます。



じゃんとこい魚津まつり

清掃活動

また、地域における芸術・文化事業やスポーツの振興支援にも積極的に取り組んでいます。



バレンタインコンサート (本多の森ホール)

### ● 教育支援

次世代を担う小中学生や高校生に、エネルギーや地球環境問題を身近なものとして捉え、正しい理解を深めていただくため、社員が講師として学校に出向く出前授業や、発電所などの見学会を実施しています。2009年度には出前授業を178回、見学会を49回実施し、あわせて9,258名に参加いただきました。



学校での出前授業の様子

### ● コミュニケーション活動

「花のミュージアム フローリ」や「アリス館志賀」などでのイベントを通じて、地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努めています。



フローリでの地元中学校 brass band 演奏

# 環境にやさしい社会の実現を目指して

## 需要面の取組み

## 低炭素社会実現に向けた取組み

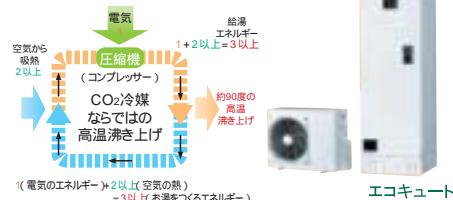
### ● 省エネ・省CO<sub>2</sub>のご提案

エネルギーをより一層効率的にご利用いただくため、さまざまなご提案を行なっています。

#### ◆ ご家庭での省エネのご提案

環境にやさしく、快適なエコキュートを中心としたオール電化住宅をご提案しています。2009年度末の累計戸数は18万戸となりました。

エコキュートの仕組み



エコキュート

#### ◆ 工場・オフィスでの省エネのご提案

工場やオフィスのお客さまへ、CO<sub>2</sub>削減効果が高いヒートポンプ空調や給湯システムを中心に、お客さま設備全般にわたる省エネルギーコンサルティングを行なっています。



ヒートポンプ

### ● 電気自動車の導入・電気バスの活用

#### ◆ 電気自動車の計画的導入

2009年度は電気自動車を11台導入し、急速充電装置も3台設置しました。2020年度までにグループ全体で400台程度の導入を目指します。



電気自動車

急速充電装置

#### ◆ 低床型電気コミュニティバスの開発

北陸電力と富山市が連携して取り組んだ「低床型電気コミュニティバス」の開発を完了し、富山市の「まいどはやバス路線」での実証運行試験を行ないました。



開発した低床型電気コミュニティバス

## 生物多様性に配慮した環境保全の取組み

北陸電力グループは、発電所建設時の環境影響評価などを通じて、生物多様性の保全に取り組んできました。また、これに資する植林等の森林保全活動など社会貢献活動にも力を入れています。今後も、生物や自然の恵みに感謝しつつ、持続可能な事業活動を目指します。

### ● 生態系や景観へ配慮した

#### 発電所の建設



### ● 「水の恵みをありがとう！」

#### 森に恩返し活動



### ● 野鳥観察会の開催



「北陸電力グループCSRレポート2010」の詳細は

ホームページ「CSRへの取組み」(<http://www.rikuden.co.jp/csr/>)をご覧ください。